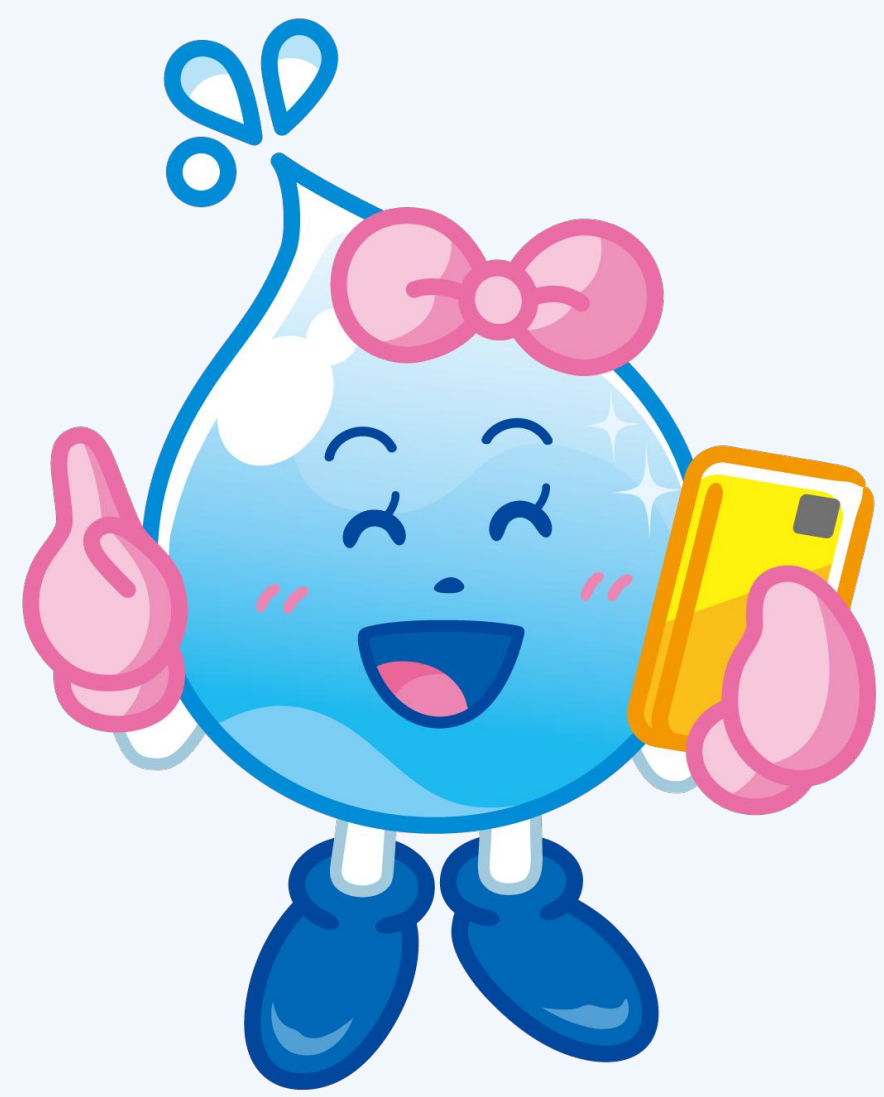
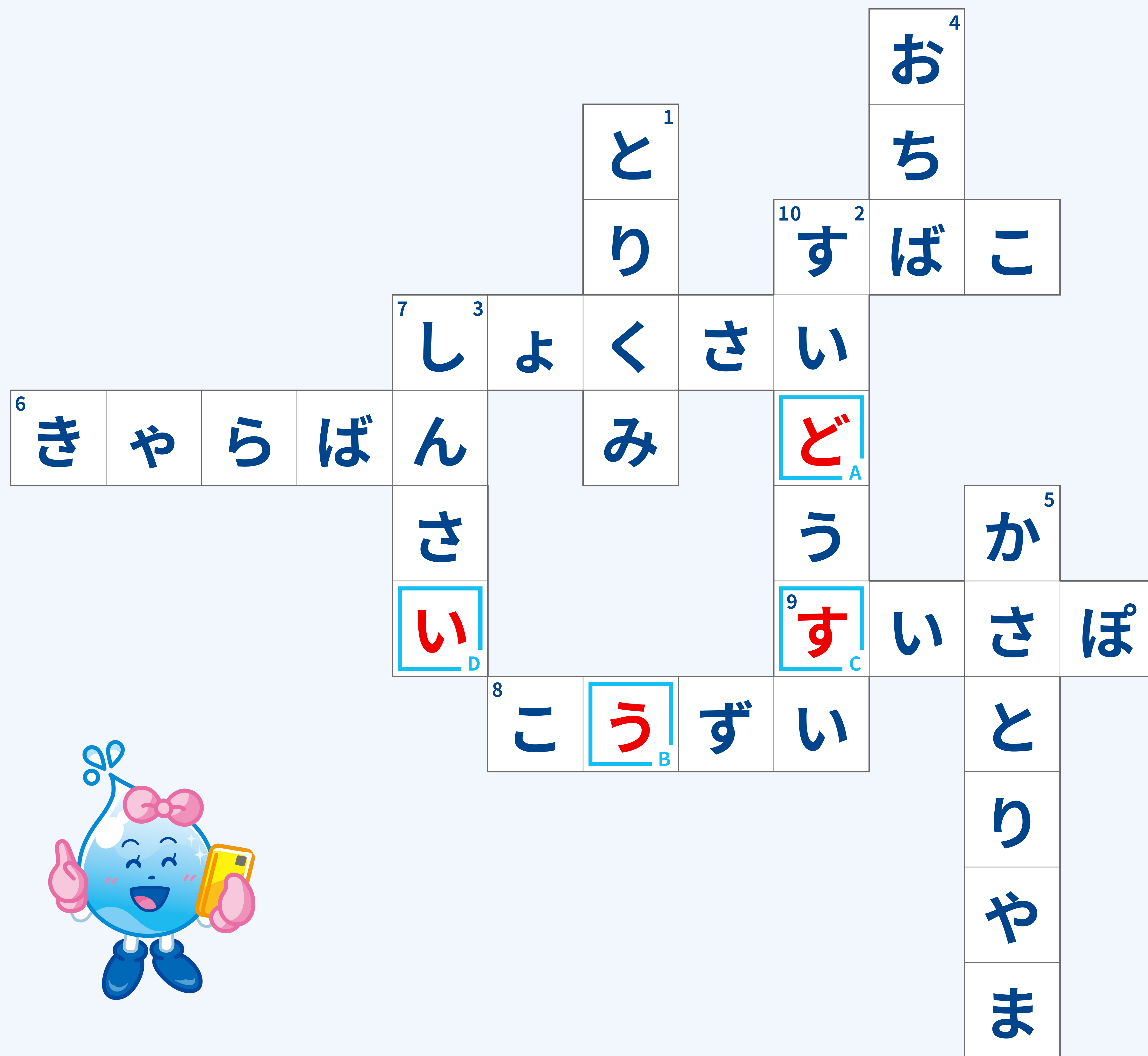


答え

第5回

東京水クロスワードパズル



キーワード

と

う

す

い

↓ タテの鍵

- 1 水道キャラバンのサイトでは水道についてのギモンや水道局のとりくみを楽しみながら学べるマンガを掲載しています。水道局職員の主人公は、ある日気が付くと悪役令嬢になっていた！？
 - 2 マンガの世界では、森の中からユニークなお爺さんが登場します。すいどうすいをキレイにするために日々働いていたら、いつしか『水おじい』と呼ばれるようになりました。
 - 3 水道サポーター交流会では、お客さまの関心が高い水道のテーマ「しんさい対策」についてや、『環境施策』などをテーマとして実施しています。実際に災害時給水ステーション等において断水時を想定した応急給水や、水を入れた給水袋を背負って運搬する体験を行っています。
 - 4 水道キャラバンのサイトでは、水道水ができるまでの過程や水道あるあるなどを動画でご紹介しています。みずたび第1回『水道水源林』では、土の中にはミズビや目に見えない小さな生き物がたくさん住んでいることを紹介しています。その小さな生き物たちはおちばを食べ、雨水をたくさん蓄えられる良い土に変えてくれます。
 - 5 東京都水道局のマスコットキャラクターの水滴くんと水玉ちゃん。出生地は多摩川の最初の一滴が染み出している「水干（ミズヒ）」があるかさとりやま山頂付近です。

→ ヨコの鍵

- 水道きゃらばんは、「水道水に対する理解や関心」をより深めていただくための出前講座です。水道キャラバンのサイトでは、出前講座のご紹介に加え、「水道水ができるまで」や「東京水道の未来」など、水道についてより理解を深めていただけるコンテンツを掲載しています。

マンガの世界の森は暗くて地面もむき出しでカチカチ。それに下草も生えていません。そのため街の水道は量も少なく汚れています。この荒れた森を変えるため、しょくさいをし、その後森全体の間伐・枝打ちを行い、その結果カチカチの土はスポンジ状になり、街の水道水はきれいになりました。

ふかふかのスポンジ状の森の土壌は、雨が降った時の水を一時土に蓄え、その水はゆっくり時間をかけて川に流れていきます。ゆっくり時間をかけて流れ出ることが水の量の調整となり、こうずいや渇水を緩和するはたらきとなります。

水道サポーター制度（愛称：「すいさぽ！」）は、水道局職員とお客さまとの直接の対話により、お客さまに水道事業への理解を深めていただき、いただいたご意見やご提案を水道事業に反映させていく取組です。

水道水源林を守るための東京都水道局の取り組みを水道キャラバンのサイト内の動画、みずたび第2回『水源林の保全管理』で紹介しています。取り組みの一環として、森の木に悪い影響を与える虫を食べてくれる「鳥」が、たくさん住み着きやすいように、水道水源林に鳥のすばこを設置しています。